



導 入 事 例

interview for

ゼブラ株式会社



Notes から移行して 5 年、社員からも高評価 テレワーク時のコミュニケーションにも活用

事業概要

日本有数の筆記具メーカー「ゼブラ株式会社（以下、ゼブラ）」は、2015 年、20 年間使用していた Notes からクラウド版「Garoon（ガルーン）」と「kintone」へ移行されました。

Notes 時代は、障害の多発、数千万円以上のバージョンアップコスト、特有の技術を要する機能修正の手間などに悩まされていましたが、クラウド版 Garoon を導入により、システムの安定運用やバージョンアップのコストダウンを実現。ここ 1 年は社内 Wi-Fi の整備や基幹システムのクラウド化など、さらなる IT 化に力を入れています。また、テレワークのトライアルや育児・介護休業中の希望者に対する社内情報取得端末の貸出しなど、働きやすい環境作りにも意欲的です。

そのような流れの中、導入から 5 年経った現在、Garoon をどのように活用しているのでしょうか。IT 化の立役者である情報システム部 部長 大川 秀夫さん、広報室 室長 池田智雄さんおよび同室 生川 麻友子さんにお話を伺いました。



■ ■ ■ 導入効果 Notes から移行して 5 年。 現場まで浸透した

——Garoon への移行から 5 年が経ちましたが、変化したことはありますか？

池田さん：もう 5 年経って Garoon を使い慣れたので、Notes を使っていた頃を思い出せないくらいですが……。便利になったと感じるのは、予定の登録と同時に会議室の予約もできるところです。以前は、小さな会議室はホワイトボードで管理していたのですが、オンラインで施設を予約できるようになり、仕事の準備を効率化できました。

生川さん：業務に関するやりとりは、メールではなく「スペース」で行うようになりました。書き込みが時系列に並ぶので、ファイルサーバーを使っていた時よりも情報を探しやすいです。異動してきた人も「スペース」を見ればキャッチアップできます。



池田 智雄さん

広報室 室長

大川さん：情報システム部の立場から考えても、Notes より手がかからないと思います。前職で Notes を使用していたときは自分たちで設定できない部分を外注していましたが、Garoon であれば自分たちで作業できます。

Notes からの移行によりさまざまな業務を効率化

	Notes 時代	Garoon 導入後
会議室管理	小さな会議室はホワイトボードを使ったアナログな管理 	予定登録と同時に会議室を予約でき、会議準備の手間を削減 
データ共有	ファイルサーバー上でデータがごちゃごちゃに 	「スペース」で共有、時系列で確認可能 
社内のやりとり	メールだと送信者と受信者の間に情報が閉じてしまう 	「メッセージ」と「スペース」を活用したオープンな情報共有 
申請業務	申請は Excel ファイルを印刷 & 押印で時間がかかる 	申請の電子化によりペーパーレス、かつ処理速度向上 

——ご利用中の機能と活用方法を教えてください。

大川さん：スケジュール、メッセージ、掲示板、ワークフロー、アドレス帳と、結構使っています。掲示板は社内規程や人事情報などを載せています。社内のやりとりにはメッセージとスペースは使っています。

池田さん：広報では、他部署との情報交換や議論の際にスペースを使っています。部署によっては、ワークフローも便利です。Notes にはワークフローのようなものがなく、Excel ファイルをプリントし、ハンコを押していたのでとても非効率でした。まだ紙の申請も残っているので、順次移行している状況です。

生川さん：Notes で使っていたのはメッセージと掲示板くらいだったので、最初は Garoon のポテンシャルの高さに戸惑う部分もありましたが、5 年経ってすごく便利だと感じています。

——御社には研究・開発職の方も多いと思いますが、Garoon はどのようにご利用されているのでしょうか？

生川さん：実験結果や評価結果の共有に、Garoon のスペースを活用しています。以前は Notes とファイルサーバーを併用していましたが、**スペースに一本化したことで、ごちゃついていた情報が整理されました**。私自身、1 年前まで技術系の部署にいましたが、プロジェクトの関係者が多いときほど Garoon を通じた情報共有が盛んでした。**部署間で連携するとき、在宅勤務の人や遠方の人と仕事をするときこそ、Garoon を活用できると思います**。

——今のような使い方はどのように浸透していったのでしょうか？

生川さん：**情報システム部がマニュアルやルールを作るということではなく、自然と口コミで広がっていき**ました。5 年前はみんなが初心者だったので探り探りでしたが、使い方やちょっとしたコツを共有しながらやってきました。

■■■活用方法 ■働き方改革のそばに Garoon あり

——働き方改革にも力を入れていると伺いました。具体的な取り組みを教えてください。

池田さん：昨年の 10 月から、一部の部署で在宅勤務のトライアルを始めました。目的は社員、特に弊社の半数以上を占める女性社員の働きやすさ向上です。育児休暇から復帰した社員もよりパフォーマンスを発揮できるように、在宅勤務制度の準備をしています。

また、育児・介護休職中の希望者に対して、社内情報の取得用に iPad の貸し出しを行っています。育児・介護休職中の社員から「休職中も社内の情報を知りたい」という要望があり、2019 年 1 月から始めました。休職に伴い、社内制度の変更や新商品の情報を得られなくなると、職場復帰への不安が生じます。実際に「休職中も社内の情報を知りたい」という要望もあり、取り組みが始まりました。

——休職者の方への情報共有はどのように行っているのでしょうか？

池田さん：働いている社員と同じように、Garoon の掲示板を見てもらっています。

大川さん：人事部から「休職中であることを大事にして、メッセージなどは見られないようにしたい」と相談があり、Garoon のアクセス権を掲示板など最小限の機能に絞りました。



生川 麻友子さん

広報室

社員の使えるアプリケーション



休職者の使えるアプリケーション



使用できる
アプリケーションを限定

——ほかにツールがある中で、なぜ Garoon の掲示板が選ばれたのでしょうか？

池田さん：普段から社員の情報共有の場が Garoon の掲示板だからです。人事系の情報はもちろん、メディアの掲載情報なども載っています。情報が集積されている場所として、迷いなく Garoon の掲示板で、ということになりました。

——実際に制度を利用した社員の方の反応はいかがでしたか？

生川さん：「社内の組織変更、また筆記具業界や新商品について定期的に知ることができて助かっている」と話していました。特に今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、掲示板には多くの対策情報があがっていました。それをリアルタイムで見られたことも、復帰時の働くイメージをつかめてよかったと聞いています。

テレワーク時の情報共有にも活用

——今年4月の緊急事態宣言の際は、原則在宅勤務の対応を取られました。IT環境の整備ではご苦労も多かったのでしょうか？

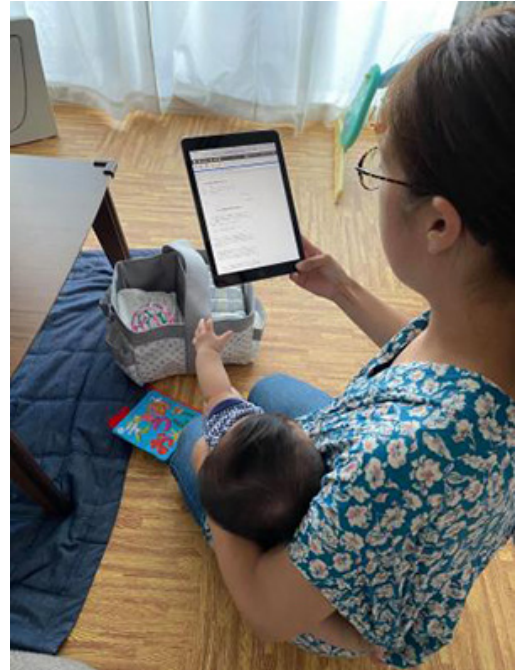
大川さん：いわゆるゼロからのスタートではなかったため、それほど大変ではありませんでした。というのも、在宅勤務のトライアルの際に、パソコンを持ち出す上でのセキュリティ対策やVPNの準備は行っていました。そのため、3月にいきなり全社で在宅勤務ということになっても、0からのスタートではなかったんです。強いて言えば、社内でデスクトップパソコンを使っていた社員向けにリモートデスクトップを追加で導入しました。「会社と同じことが家でもできる」ということで、評判はよかったです。在宅勤務でも、Garoonは平常時と同じように使うことができました。セキュリティに関してはIPアドレス制限をかけており、VPN経由でのみアクセスできるように設定しています。

——テレワークでは情報共有に課題を抱える企業も多いそうですが、御社ではどのように行っていますか？

大川さん：出社できる人が少ない中でも情報を共有するために、Garoonのスペースを活用しました。日ごとにディスカッションを立てて、その日の出来事や引き継ぎ事項を連絡するんです。その日に起きたことが一目で分かり、便利です。また、会社としては新型コロナウイルス感染症予防対策の情報をスペースに集約しました。社長も日々考えていることをスペースに書き込んでいました。在宅勤務中は、いつもよりもオンラインでのコミュニケーション増えますが、そのための場をGaroonで簡単に作ることができたのは良かったです。

——チャットツールも使われているそうですが、どのように使い分けていますか？

大川さん：チャットは1対1、1対2のちょっとしたやりとりで使用し、Garoonはチーム全体で共有したいまとまった情報はスペースに書き込んでいます。



育児休暇中の社員もGaroonで情報を確認できる

【今後の展望】 変化を見据えた IT 化への対応

——最後に、今後の展望をお聞かせください。

大川さん：まずは会社に来なくても仕事ができるように、そしていずれはスマホさえあれば仕事ができるようにしたいです。その意味でもモバイルアプリの「サイボウズ KUNAI」を浸透させたいですね。他の Garoon の機能についても、改めて使い方を勉強して、よりゼブラに合った、分かりやすい使い方を考えていければと思います。

これまでもテレワークの準備だけでなく、社内サーバーのクラウド化や社内 Wi-Fi の整備を行ってきました。セキュリティを守るべきところは守りつつ、IT を使えばこんなに便利になるということ伝えるようにしているので、他の社員も納得感を持って進められていると思います。

池田さん：以前から IT 化を進めようという雰囲気はありましたが、大川が入社してからはかなりスピードが上がりました。日本にはたくさんの筆記具メーカーがあり、日々切磋琢磨している状況です。その中で鍵になるのが社員の能力の発揮であり、情報共有ツールやコミュニケーションツールも重要になってくると思います。今後も社員の働きやすい環境を整え、商品やサービスの向上を目指していきます。



大川 秀夫さん

情報システム部 部長



スケジュール

Garoon では、予定登録画面で施設を予約できます。小さな会議室をホワイトボードで管理し、スケジュール管理と一元化できていなかった Notes 時代と比べ、会議準備を効率化できたそうです。定期的な同じ場所で行う予定は「繰り返し予定」として登録すれば、さらに手間が省けます。

予定登録と同時に施設を予約できるため、会議準備を効率化

Notes 時代

小さな会議室は
ホワイトボードで管理



スケジュール管理と
一元化できない



予定登録画面で
施設を予約できる

Garoon 導入後

The screenshot shows the Garoon reservation interface. At the top, there's a '予定登録' (Reservation) section with fields for date (2020年08月04日), time (9時), and title. Below this, there's a '施設' (Facility) section with a list of available rooms: 第1会議室, 第2会議室, 第3会議室, 第4会議室. A search bar and a '施設検索' (Facility Search) button are also visible. A green arrow points from the 'Notes 時代' section to this interface.

掲示板

育児・介護休職中の希望者に対して「掲示板」へのアクセスを許可することで、休職者も他の社員と同じ情報をリアルタイムで確認できているそうです。ただし休職中であること尊重し、利用できるアプリケーションは最小限に。メッセージやスペース、スケジュール、ワークフローといった、業務に関するやりとりができるア

アプリケーションには、アクセスできないように設定されています。このようにユーザーの所属や属性に応じたアプリケーション利用の制限を、Garoon なら手軽に設定できます。

手軽な使用権限設定で、退職者への適切な情報共有を可能に

テレワークでの「スペース」活用

出社できる人が少ない中でも日々の出来事や引継事項を共有するために「スペース」を活用。日付ごとにディスカッションを立てることで、その日の情報を一か所に集約できているそうです。ディスカッションでは書き込みが時系列に並ぶため、情報を追やすいです。

日付ごとにスペースのディスカッションを立てることで
その日の出来事が一目で分かり、情報を追やすい

